

審査した案件と結果

知事提出の議案

・予算 2件(可決) ・事件 8件(可決)
・条例 8件(可決) ・人事 1件(同意)
1件(撤回許可) ・専決 14件(承認)

議員等提出の案件

・意見書 2件(可決)

可決された意見書

○国土強靱化の計画的かつ着実な推進を求める意見書
○地方財政の充実・強化を求める意見書

〈議長就任あいさつ〉



外間 雅広

長崎県議会議長にご選任いただきました外間雅広でございます。
本県では、人口減少対策が最重要課題となっており、若い世代の県内定着や安心して子育てができる社会の実現に向けた取組が必要であります。また、九州新幹線西九州ルートの整備促進や離島・半島振興対策などの当面する本県の諸課題の解決に取り組み、県勢発展のために、誠心誠意、尽力してまいります決意でございますので、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ながさき
県議会だより

6月定例会

令和7年6月定例会が開催され、活発な論議が交わされました。

令和7年6月定例会が6月16日から7月10日まで開かれました。
今定例会は、当初、会期を7月9日までと決定していましたが、7月9日に追加上程された知事及び副知事の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の審査時間を十分確保するため、会期を1日間延長しました。
本会議初日は、「令和7年度長崎県一般会計補正予算(第2号)」及び「令和7年度長崎県一般会計補正予算(第3号)」が閉会日の本会議で可決され、合計で一般会計 73億7,301万9千円の増額補正となりました。
本定例会では、33件の議案を原案のとおり可決、同意、承認するとともに、1件の議案の撤回を許可し、「国土強靱化の計画的かつ着実な推進を求める意見書」など2件の意見書を可決し、閉会しました。

一般質問

備蓄治療薬の有効的な活用方法について

饗庭 敦子 (西彼幹部/改革21)



【質問】これまで廃棄された備蓄治療薬の量や費用、廃棄処理にかかるコストを考えた場合、県独自の備蓄や活用方法を検討することで、より効果的な運用が可能になると考えるが、県の見解は。
【答弁】県が備蓄する抗インフルエンザウイルス薬は、「新型コロナウイルス」等に対する「特別措置法」に基づき備蓄しており、県独自で活用するためには法律の改正が必要と認識している。運用の見直し等については、国に対して引き続き要望してまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

長崎県教育方針について

千住 良治 (諫早市/自由民主党)



【質問】教員が誇りと情熱を持って働くことができる環境づくりが重要である。県が教員支援に強い姿勢を示すことで、教員の魅力が高まり、選ばれ長崎県となることが期待されるが、県の見解は。
【答弁】誇りと情熱を持って働く教員の姿は、子供たちの学びの質の向上だけではなく、若い世代にとっても魅力的に映り、質の高い人材確保につながる。取組の推進に向け、県民の方々にご理解と協力をいただければ、様々な機会を捉え、メッセージを発信してまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

知事と後援会との間の2,000万円の貸付金について

田中 愛国 (佐世保市/北松浦郡/自由民主党)



【質問】知事と後援会との間の2,000万円の金銭消費貸借契約についてこれは実際に知事の選挙運動で使用された約1,609万円の契約であるべきと考えるが、この契約とは別に、2,000万円を貸し付けた事実はあるのか。
【答弁】選挙運動費用収支報告書に「資金」として計上した2,000万円について、これを認めないまま、誤って後援会の貸付金として後援会の収支報告書に二重計上したものであり、これは別に架空の2,000万円を貸し付けたという事実は一切ない。

録画中継へのリンクはこちら

島原半島の道路整備について

中島 浩介 (南島原市/自由民主党)



【質問】幹線道路網に関する検討会において、議論を加速させていく必要があると思うが、現時点での進捗状況及び今後の予定は。
【答弁】昨年度までに3回検討会を開催して半島一周する循環型道路ネットワークを島原半島地域の将来の目指すべき全体像として整理したところであり、今後は、第5回検討会をできる限り早期に開催し、地域のご意見を伺いながら、優先的に整備すべき区間を抽出するなど、検討を進めてまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

県庁舎跡地の長崎市との一体的な管理・整備について

大倉 聡 (長崎市/もったいない!長崎)



【質問】県庁舎跡地の整備に際しては、長崎市所有の江戸町公園についても、地元自治会のご意見も踏まえ、市と県で一体的に管理・整備することが必要と考えるが、県の見解は。
【答弁】県庁舎跡地整備基本構想において、一体的活用を検討するとしており、長崎市と協議を重ねている。今年度行うこととしているサウナディングの結果を長崎市とも共有し、引き続き、検討を進めてまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

カーボンニュートラルと産業振興について

虎島 泰洋 (長崎市/自由民主党)



【質問】県内で取組が進められている洋上風力発電について、今後成長が期待される浮体式のサプライチェーン構築に向けた動きは。
【答弁】今年1月、浮体式の基幹部品製造で、国の補助金に採択された大島造船所の取組について、浮体式に関する世界初の量産サプライチェーンが県内に構築されるよう、県内企業の参画を後押ししており、海外案件の受注獲得に向けた動きも出てきている。今後とも、国内外の需要獲得に向けた県内企業の取組を支援してまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

獣医師不足の解決策について

大久保 堅太 (平戸市/自由民主党)



【質問】近年、獣医師の確保が非常に困難となっており、県職員獣医師の採用に向けても様々な取組をされているが、案件拡充のための取組として、採用年齢の引き上げに取り組んでもらえないか。
【答弁】県では、これまで他県の状況等を調査し、採用条件の見直しを検討してきたところであり、今後、新たな取組として、民間や他自治体などでの経験者の採用を強化するため、年齢要件の上限を45歳から61歳へ引き上げることを検討している。

録画中継へのリンクはこちら

都市計画道路破籠井鷺崎線の整備について

坂口 慎一 (諫早市/自由民主党)



【質問】昭和44年に都市計画決定された本道路は、諫早市街地北部の発展において、極めて重要な路線であるが、未完成である小豆崎町から西米田町間の整備に向けた現在の取組状況は。
【答弁】昨年度までに市や自治会と意見交換を行い、必要性は高いものと認識しているが、地形的条件や4車線の計画であるため、多額の費用を要し、延長も長いことから、複数区間に分けて整備を進める必要があると考えている。今後、市と連携して課題の検討を進めてまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

離島の医療提供体制について

畑島 晃貴 (対馬市/自由民主党)



【質問】離島の医療的なハンディキャップを生じさせないための今後の県の取組方針は。
【答弁】医療需要の変化に適切に対応し、効率的かつ効果的な医療提供体制を構築することが重要である。救急医療においては、救命率の向上を図るため、本年秋頃にドクターヘリの2機目を導入することとしており、準備を進めている。また、オンライン診療の普及や拡大やドローンによる医薬品配送の日常的な活用に向けた取組などをさらに進めていく。

録画中継へのリンクはこちら

全国最多額となった個人献金者の住所表記問題について

小林 克敏 (大村市/県民会議)



【質問】後援会の収支報告書において、個人献金者の住所に企業所在地が記載されていたとの報道があり、知事は訂正不要との認識を示している。企業献金の疑いを持たないことについて、議会や記者会見等では、反省の意を示しているもの、どこまで反省しているのか、疑わざるを得ないが、知事の見解は。
【答弁】疑いを持たれることは、できる限り無くすべきだと思っている。個人献金ということをはっきりとさせる形で疑いを持たないよう、しっかりと取り組んでまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

再生可能エネルギーについて

本多 泰邦 (長崎市/公明党)



【質問】本県では、五島市沖と西海市江島沖において洋上風力のプロジェクトが進められているが、それぞれの進捗状況は。
【答弁】五島市沖については、最後の8基目の洋上風車の設置作業が現在進められており、来年1月に運転開始が予定されている。また、事業規模において西日本最大のプロジェクトである西海市江島沖については、現在、地盤調査や陸上の変電工事などが進んでおり、令和11年には、28基の風車の設置が完了し、運転開始が予定されている。

録画中継へのリンクはこちら

石木ダム事業計画について

まさやま 大和 (大村市/改革21)



【質問】石木ダム事業の治水計画の根拠となる川棚川流域の平均雨量は、実測雨量ではなく、遠く離れた佐世保市の雨量を基に算出しているが、統計的な判断に誤りがあり、修正すべきではないか。
【答弁】川棚川の治水計画は、法令や技術基準に基づき策定し、有識者による検討委員会が審議されていることについての考え方は、ダム検証や事業認定の手続きにおいても確認され、事業認定取消訴訟においても「不合理な点は見当たらない」と認められており、修正するつもりはない。

録画中継へのリンクはこちら

常任委員会

予算決算委員会
委員長／前田 哲也

【質問】高等学校私立学校助成費に関し、授業料に対する就学支援金において、所得による制限が無く、原則すべての生徒が支援の対象となる中で、これまでと同様に申請がなければ、対象とならないのか。
【答弁】支援制度における手続は、国において定められており、引き続き、申請がなければ支援の対象とならない。
【意見】制度への理解が十分でないために、申請をせず、支援を受けられない世帯が生じないようにしていただきたい。
【主な論議事項】特定有人国境離島地域社会維持推進交付金／公共事業予算／特別高圧電力高騰対策支援事業費 等

農水経済委員会
委員長／清川 久義

【質問】米の価格高騰に関し、米の価格が値上がりする一方で、資材費の高騰等もあり、農家の手取りは上がっていないと聞く。農家が安心して米作りができる所得を確保する必要があると考えるが、県の見解は。
【答弁】持続可能な米の生産環境を確保するために、農産物の適正な価格形成について、国に要望したところである。また、本県の中山間地域が多く、米作りにコストがかかるという地理的な状況も国へ伝えていき、生産性の向上や省力化を図るなど、今後も本県米農家が希望をもって生産できるよう支援してまいりたい。
【主な論議事項】長崎県技能会館条例を廃止する条例／日本産水産物の中国向け輸出再開 等

観光生活建設委員会
委員長／坂口 慎一

【質問】長崎県営バス運賃等条例の一部を改正する条例に関し、運賃改定によって、どれくらいの増収を見込んでいるのか。また増収分をどのように活用しようとしているのか。
【答弁】今回の実施運賃の改定率は、約17パーセントで、利用者が一定減少することも想定されるが、年間4億円程度の増収を見込んでいる。今後3年間で82台の車両更新を計画しており、人材確保に向けた処遇改善についても対応していく必要があると考えている。行動計画を着実に実施しながら、経営の安定に努めていきたい。
【主な論議事項】旭大橋高架下の活用／新たな観光振興財源の導入 等

文教厚生委員会
委員長／中村 泰輔

【質問】麻しん風しんの定期予防接種に関し、昨年度、MRワクチンが不足し、希望する方が接種できなかったと懸念しているが、状況は。
【答弁】昨年度は、統計が残っている平成20年度以降最も低い接種率となっている。国においては、対象期間を超えて接種ができる特例措置が採られており、今後、予防接種の実施主体である市町へさらに働きかけ、保護者へ周知するほか、適切な情報提供を行うよう努めたい。
【主な論議事項】体罰等に係る実態調査／学校指定型のふるさと納税制度の創設／少子化、未婚化対策 等

総務委員会
委員長／鶴瀬 和博

【質問】知事及び副知事の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例に関し、知事自らに処分を科すということで、3か月間、給料を50%減額することについての考え方は。
【答弁】当初は1か月間、給料を100%減額の提案を行ったが、県議会における様々な意見を踏まえ、責任の重さについて、より理解を得られる形として、改めて提案を行った。減給する期間が、必ずしも反省をする期間ということではなく、一連の問題に関して反省の意をしっかりと持ち続けながら、県勢の発展に努めてまいりたい。
【主な論議事項】長崎県職員賞状つづ金の支給に関する条例／警察職員の時間外勤務／長崎県総合計画素案骨子／移住相談 等

議長記者会見

7月10日に開催し、はじめに徳永達也前議長から、在任中の主権者教育の取組や佐賀県議会との連携推進、九州各県議会議長会の会長としての取組など、所感を交えて退任の挨拶がありました。
その後、新議長に就任した外間雅広議長が、二代表制の一翼を担う県議会がその役割と責務を果たすよう、議長として公正かつ円滑な議会運営に努めたいとの抱負を述べたのち、知事の政治資金問題に対する議会としての対応や石木ダム事業などについて記者の質問に答えました。



動画
配信

本会議・委員会の中継・録画配信を行っています。一般質問の表題横の二次元コードから各議員の一般質問の録画にアクセスできます。

ホームページ・会議録 会議録全文を掲載しています。

○平成8年2月～令和7年2月定例会の本会議・常任委員会
○平成24年4月～令和7年3月分の特別委員会

※本会議・委員会は、原則として誰でも傍聴できます。

長崎県議会 検索

お知らせ

動画
配信

公式SNS
長崎県議会
公式SNSはこちら→



次回
定例会

次回の定例会は、令和7年9月8日(月)に開会予定です。

テレビ
放送

「県議会リポート」令和7年8月9日(土) 12:45～13:15 NCC長崎文化放送 5ch

提供／長崎県議会

お問合せ先／議会事務局(政務調査課)

TEL095(894)3634